

生活を豊かにする楽しい活動

地域を明るくする社会活動

高壮だより水戸

編集協力・印刷/（株）博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎046-280-6001



写真提供/諸ことぶさ会 撮影 健児

世界保健機関が報告書公開 高齢者の社会貢献が 過小に評価されている

世界保健機関（WHO）は、高齢者を社会の「重荷」とする差別的な風潮がある考え方を強く批判し、高齢者へのコストは「投資」と考えるべきだという報告書を公表した。

高齢者の医療費用や介護費用といったネガティブなコスト面を意図的に取り上げるのではなく、高齢者が社会に貢献している部分を含めて、公平に判断していかねばならないとしている。

イギリスの研究では、高齢者への年金や医療、介護などにかかるコストと、税金や経済活動を通じて社会的貢献を比較した結果、ネガティブなコストをポジティブな社会貢献が完全に上回っており、その差額は現在で約400億ポンド上ると算出。2030年には約770億ポンドまで増える」と予測している。

困難な課題に直面したときに高齢者が精神的な支柱となり、指導的な役割を担うなど、高齢者ならではの能力を高く評価し、適切な医療やサービスをを行うことで、高齢者の健康状態を改善・維持することが、より社会貢献につながるとしている。

世界でも類のない速さで高齢化が進む日本の取り組みは、各国でも注目されており、WHOのマーガレット・チャン事務局長は「日本の取り組みを世界へ発信していくことを期待する」との談話も発表した。（本報告書の日本版要約版のコピーは事務局にあります）

人は年齢に関係なく社会と何らかの形で関わりたい思いを持っている。超高齢社会の中にあっても高齢者は単に弱者的な立場に甘んじることなく、これまで培った知識や経験を活かし、これまでに以上に社会に貢献し影響を与えていくことが期待されている。

高齢者クラブも、これまでの経験に団塊の世代など新しい仲間との価値観や行動力に加え、豊かな長寿社会を構築するため、地域社会に果たす役割がますます重要になって来る。



新年のごあいさつ

近隣市町村と連携したまちづくり

水戸市長 高橋 靖



おめでとうございます。
水戸市高齢者クラブ

連合会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、我が国では、世界に例を見ない速さで高齢化が進行しており、超高齢社会の到来を見据えた対応が求められています。このような中、水戸市におきましても、高齢者の皆様が住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らすことができるよう、水戸ならではの地域包括ケアシステムの構築を進めてまいります。

高齢者クラブの皆様におかれましては、日頃から、仲間同士の親睦活動や健康づくりに取り組ま

れるとともに、長年培われた豊かな知識や経験、人々とのネットワークを最大限に活かし、ひとり暮らし高齢者への声掛けや子どもたちの見守り活動等の幅広い分野において、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

水戸市は、昨年7月、県央地域9市町村から成る茨城県央地域定住自立圏の中心市宣言を行いました。今後は、県都としてのリーダーシップを発揮し、近隣市町村と連携した様々な施策を推進していくことが求められています。人の力はまちの力そのものです。今後とも、高齢者クラブの皆様からの力強いご支援、ご協力を賜りますとともに、未来の水戸を担うことができる「人づくり」にもお力添えをいたされたいです。

結び、高齢者クラブ連合会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

高齢者による安心安全なまちづくりに期待

社会福祉法人水戸市社会福祉協議会 会長 保立 武憲



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、

新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

水戸市高齢者クラブ連合会会員の皆様には、日頃から会員同士の強い連携を通して、クラブの発展と地域社会づくりにご尽力されておりまして、敬意と感謝を申し上げます。

また、水戸市社会福祉協議会の事業運営に對しまして、多大なご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、本県においても、関東・東北豪雨により常総市をはじめ多数の方々が被災されまし

た。災害からの復旧復興を通して、家族の絆・地域のつながりやボランティアの大切さ、ありがたさを再認識された方も多いことと存じます。

貴連合会は、さまざまな活動を通して、地域福祉の向上に大きな役割を果たしてまいりました。一方、少子高齢化などによる人口の減少社会を迎えるなか、社会環境の変化とも相まって会員の高齢化や会員の減少など新たな課題も発生するなど、何かとご苦労をされていることと存じます。

地域福祉推進にとって、何よりも大切なことは心豊かで幸福に生活できると感じるということではないでしょうか。

貴連合会の活動が益々魅力あるものとなることにより、安心安全な福祉のまちづくりが実現できるものと、大きな期待をさせていただきます。新年にあたり、貴連合会の充実発展と会員皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

地域のニーズに合わせた活動

水戸市高齢者クラブ連合会 会長 清水 昭郎



新年おめでとうございます。
お健やかな初春をお慶び申し上げます。

私も高齢者クラブは、全国の仲間とスクラムを組んで、5

か年計画の全国100万人会員増強運動に取り組んでおります。昨年は、水戸市の高齢者クラブ全体で前年度を588人も上回る増員を果たし、全国老人クラブ連合会より「会員増強運動特別賞」を授与されました。これもひとえに会員皆様方一人ひとりが使命感を持って勧誘・普及に取り組んで頂いた結果と深く感謝いたしております。各単位クラブ会長・会員の底力を改めて痛感した次第です。平成28年も地域のニーズと実情に合わせた楽しい活動を展開しながら

ら、ご苦労をおかけしますが、会員増強への取り組みもよろしくお願いいたします。

また、介護保険制度の見直しにより、地域で支援を必要とする高齢者等を対象に、見守り支援合う体制づくりが求められております。

日頃から健康づくりを始めとして、世代間交流や地域見守り活動などにも積極的に取り組んでいる高齢者クラブは、この新しい体制づくりの一番近いところで活動しているといっても過言ではありません。

支援を必要とする皆さんが地域とのつながりを回復し、近隣の人々と交流を重ねること自体が介護予防になり自立支援につながるものと考えております。

超高齢社会が進む中で、高齢者や高齢者クラブが地域社会で果たす役割は、ますます重要になってきております。

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています



